

海外出張の通信と、緊急時の最初の対応をひとつに。「トラベルSIM法人版」提供開始。請求書払い・利用上限付きのeSIMで、出張者にはAIが24時間・多言語で初動を案内

「出張中の社員が、旅先でトラブルに遭ったら…」トラベルAIレスキューが次の行動と会社への第一報の下書きを用意します。総務の作業は、発行と月次の請求の確認の2つに

ジャグプロジェクト合同会社 2026年10月14日 11時00分 配信 (PR TIMES)

法人・団体向け 提供開始

海外出張の通信と、 緊急時の最初の対応を ひとつに。

トラベルSIM法人版

請求書払い・利用上限付きのeSIM
出張者には、AIが24時間・多言語で初動を案内

ジャグプロジェクト合同会社
イラストは、生成AIで作成したイメージです

ジャグプロジェクト合同会社（本社：東京都江東区、代表：Jag Yamamoto、以下 当社）は、2026年10月14日、法人・団体の海外出張向けeSIM「トラベルSIM法人版」の提供を開始しました。総務の作業を、回線の「発行」と月次の「請求の確認」の2つにまとめます。出張者には、盗難・急病・通信のトラブルのときに、当社のAI「トラベルAIレスキュー」が次の行動を24時間・多言語で案内し、会社への第一報の下書きを作ります。

背景：出張の通信と緊急時の対応は、総務の手作業に頼ってきました

海外出張の通信には、レンタルWi-Fiの予約・受け渡し・返却・精算や、国際ローミングの費用の確認など、総務の手作業が多くかかります。出張中の問い合わせは、深夜や多言語のものも含めて、総務や情報システムの担当者が受けてきました。公開の調査では、出張の管理者の57%が「危機管理の体制やマニュアルが整っていない」と答えています（2018年・コンカー）。

当社は、海外旅行・出張でのトラブル時にAIに助言を求めるリスクを調べ、調査白書「旅先の緊急時、AIはどこまで答えてよいか」にまとめています。その中の、出張中の24の場面の机上演習では、一般のチャットAIは、盗難や急病のときにも会社へ知らせるよう案内することがほとんどありませんでした。会社

への第一報を案内できたかの点数は、トラベルAIレスキューが2.00点、有料のチャットAIが0.46点でした（2点満点）。

図3 机上演習：初動の助言と、会社への第一報



2026-09-27・24場面・判定担当2人の平均。危機管理会社とガイドブックは説明に基づく判定。
出典：ジャグプロジェクト合同会社「旅先の緊急時、AIはどこまで答えてよいか」（2026年9月）

図 机上演習：初動の助言と、会社への第一報（24場面・2点満点）。出典：調査白書「旅先の緊急時、AIはどこまで答えてよいか」（2026年10月7日・ジャグプロジェクト合同会社）

法人版でできること

【通信】

- ・発行は管理画面から。QRコードが出張者本人のメールアドレスに届きます。eSIMのほか、物理SIMも選べます。
- ・対応153カ国。渡航先が変わってもSIMの交換は要らず、次の出張でも同じeSIMを使えます（年間更新制）。
- ・月次10GBのパック制です。上限に達すると通信は自動で止まり、追加の利用は会社の承認制です。
- ・利用の無い月は0円です。最低月額はありません。
- ・請求は翌月末締めめの請求書1枚で、適格請求書（インボイス）に対応します。出張者の立替と精算は要りません。
- ・追加の発行は、出張者本人が画面から申請し、会社への請求に合算します。承認の可否は、会社が決められます。

【出張者の初動】

- ・トラベルAIレスキューが、設定・接続・盗難・急病などの問い合わせに、24時間・多言語で最初の対応をします。AIによる自動の案内で、人が対応するサービスではありません。
- ・連絡先はAI生成に頼らず、外務省などの公的情報で確かめたデータから示し、確かめた番号は押すだけで電話できます。会社の緊急連絡先や、会社が契約したアシスタンスの窓口も登録できます。

・相談の内容から、会社への第一報の下書き（日時・場所・起きたこと）を、本人の言葉だけで作ります。送るのは本人で、自動では送りません。



出張者の相談から、会社への第一報の下書きまで。送るのは出張者本人です（生成AIで作成したイメージ）

【管理と安全】

・パスキー（生体認証）でのログイン、費用が発生する操作の直前の本人確認、新しい発行と新しい端末からのログインの管理者への通知、回線の数と金額の上限の設定に対応します。

料金（税抜）

・初期発行費用：1回線あたり年9,800円（税込10,780円。年間更新制で、発行・維持・失効時の再発行を含みます）

・データ利用料：月次10GBパック（渡航先の区分ごと。例：台湾・韓国・タイなどの区分は月3,980円から）。利用のあった月だけかかります。

・超過分：1GB単位の従量

・プラン：従量課金（月額固定費なし）／コミットS（月額30,000円・パック料金15%減）／コミットL（月額100,000円・パック料金25%減）

・1回線から契約できます。見積もりは、ページのお見積りで、その場で出せます。

<https://www.travelsim-japan.com/corp/>

導入の流れ

1. 相談・見積もり
2. 契約
3. 管理画面から、必要な人数分を発行（QRコードが出張者本人のメールアドレスに届きます）
4. 出張者がQRコードを読み込み、現地で回線を有効にする
5. 翌月末締めのご請求書を確認

事業者の方へ

旅行保険・旅行会社・ホテル予約サイト・eSIM・レンタルWi-Fi・法人向けガイドブック・危機管理の事業者は、法人版を自社のブランドで販売できます（ホワイトレーベル・OEM・代理店販売）。業種ごとの想定事例を、次のページに載せています。

<https://panam.travelsim-japan.com/jp/business/rescue/>

よくある質問

Q. 海外出張の社員に渡す緊急連絡先の一覧を、AIに生成させても大丈夫ですか。

A. 配る前に、公式の情報と1件ずつ照らし合わせてください。当社の調査では、一般のチャットAIで生成した20カ国分の一覧で、外務省の資料で番号を照合できた11カ国のうち、無料のAIの1つは、3カ国で日本大使館の番号を誤りました。番号を確かめるよう促す一文もありませんでした。トラベルSIM法人版では、出張者の手元のアプリは、公的情報で確かめた番号だけを、押すだけで電話できる形で示します。

Q. 出張中の社員が海外で交通事故に遭ったと連絡がありました。会社としてまず何をすればよいですか。

A. 本人の安全と居場所の確認、現地の救急・警察への連絡の有無、保険会社と会社が契約した窓口（アシスタンスや危機管理会社）への連絡、の順です。トラベルSIM法人版では、出張者のアプリが、相談の内容から会社への第一報の下書き（日時・場所・起きたこと）を本人の言葉だけで作ります。送るのは本人で、自動では送りません。人の手配（搬送・退避）は、危機管理会社や保険のアシスタンスの役割です。

Q. 深夜に出張者が体調を崩したとき、総務が電話で対応するのは難しいです。本人がその場で正しい窓口にたどり着ける仕組みはありますか。

A. トラベルSIM法人版の出張者向けのアプリ（トラベルAIレスキュー）が、24時間・多言語で、症状を伝える現地語のカード、緊急番号、保険会社への連絡の要約を用意します。会社の緊急連絡先と、会社が契約したアシスタンスの窓口も登録でき、押すだけで電話できます。AIによる自動の案内で、人が対応するサービスではありません。

Q. 海外出張の安全への配慮で、中小企業はどこまでやれば足りますか。危機管理会社は高く契約できません。

A. 何をすれば足りるかは、会社の規模や渡航先によって異なり、当社がお答えできるものではありません。当社が提供するのは、出張者の手元に確かめた連絡先と次の行動の案内を置き、会社への第一報を届けやすくすることです。トラベルSIM法人版は1回線から契約でき、利用の無い月は0円です。人の手配が必要な場合は、危機管理会社や保険のアシスタンスと組み合わせます。

Q. 出張者に会社の携帯を持たせていますが、海外でつながらないと連絡が取れません。通信と緊急時の案内をまとめて用意する方法はありますか。

A. トラベルSIM法人版は、出張者の通信（153カ国・月次10GBのパック制・請求書払い）と、緊急時の最初の対応（トラベルAIレスキュー）をひとつにしたものです。総務の作業は、管理画面からの発行と、月次の請求の確認の2つです。出発前に保存した手順とカードは、圏外でも開けます。

Q. 出張の無い月の費用はかかりますか。

A. かかりません。パックは、利用のあった月だけです。

Q. 想定外の高額請求は起きませんか。

A. 上限（既定10GB。会社が変わります）に達すると、通信は自動で止まります。それ以上の利用には、会社の担当者の承認が必要です。

Q. 本人確認は要りますか。

A. 多くの渡航先では要りません。香港・台湾など一部の国・地域では要ります（手順は、お申し込みのときにご案内します）。

関連情報

- ・ トラベルSIM法人版（料金・見積もり・相談）：<https://www.travelsim-japan.com/corp/>
- ・ 調査白書「旅先の緊急時、AIはどこまで答えてよいか」：<https://panam.travelsim-japan.com/jp/research/>
- ・ 法人版トラベルAIレスキュー（事業者向け）：<https://panam.travelsim-japan.com/jp/business/rescue/>
- ・ プレスルーム：<https://panam.travelsim-japan.com/jp/press/>

※トラベルAIレスキューは、AIによる自動の案内で、人が対応するサービスではありません。医療行為・診断・法律相談・保険の査定・人の手配（搬送・退避）は行いません。送信されたデータをAIの学習に使いません。実際の緊急時は、現地の警察・救急・医療機関・大使館を最優先してください。

会社概要

- ・ 会社名：ジャグプロジェクト合同会社
- ・ 所在地：東京都江東区
- ・ 代表：Jag Yamamoto
- ・ 設立：2015年2月（海外向けSIM「トラベルSIM」の販売は2014年から）
- ・ 事業：海外向けeSIM「PANAM 海外あんしんトラベルSIM」、旅先の緊急時の初動を案内するAI「トラベルAIレスキュー」、法人向け「トラベルSIM法人版」
- ・ URL：<https://panam.travelsim-japan.com/jp/>

本件に関する報道関係者のお問い合わせ

ジャグプロジェクト合同会社 広報（代表・Jag Yamamoto）

info@jagproject.com / 050-5051-1141

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

ジャグプロジェクト合同会社 広報（代表・Jag Yamamoto）

メール：info@jagproject.com

電話：050-5051-1141